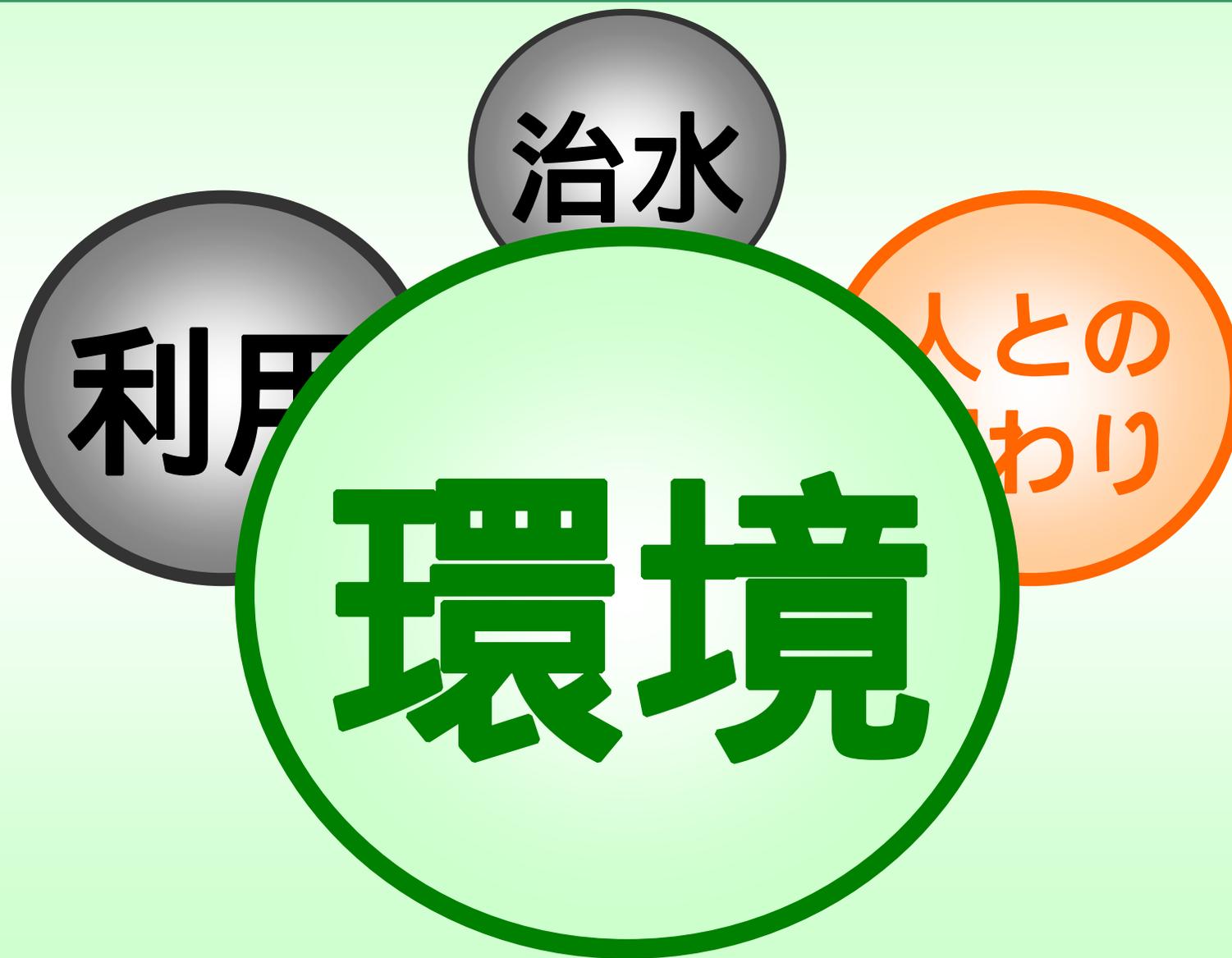


3 . 河川環境に関する現状と課題



巴川水系の河道特性について整理しました。



巴川上流部
(山地区間)



長尾川上流部
(山地区間)



巴川本川中流部
麻機遊水地



巴川本川下流部
(感潮区間)



大谷川放水路

巴川流域河道特性

巴川水系の代表的な動植物を整理しました。



オオルリ

巴川上流部
(山地区間)

長尾川上流部
(山地区間)



ヤマセミ



ヨシ

巴川本川中流部
麻機遊水地



アオサギ

大谷川
放水路



ヒメガマ

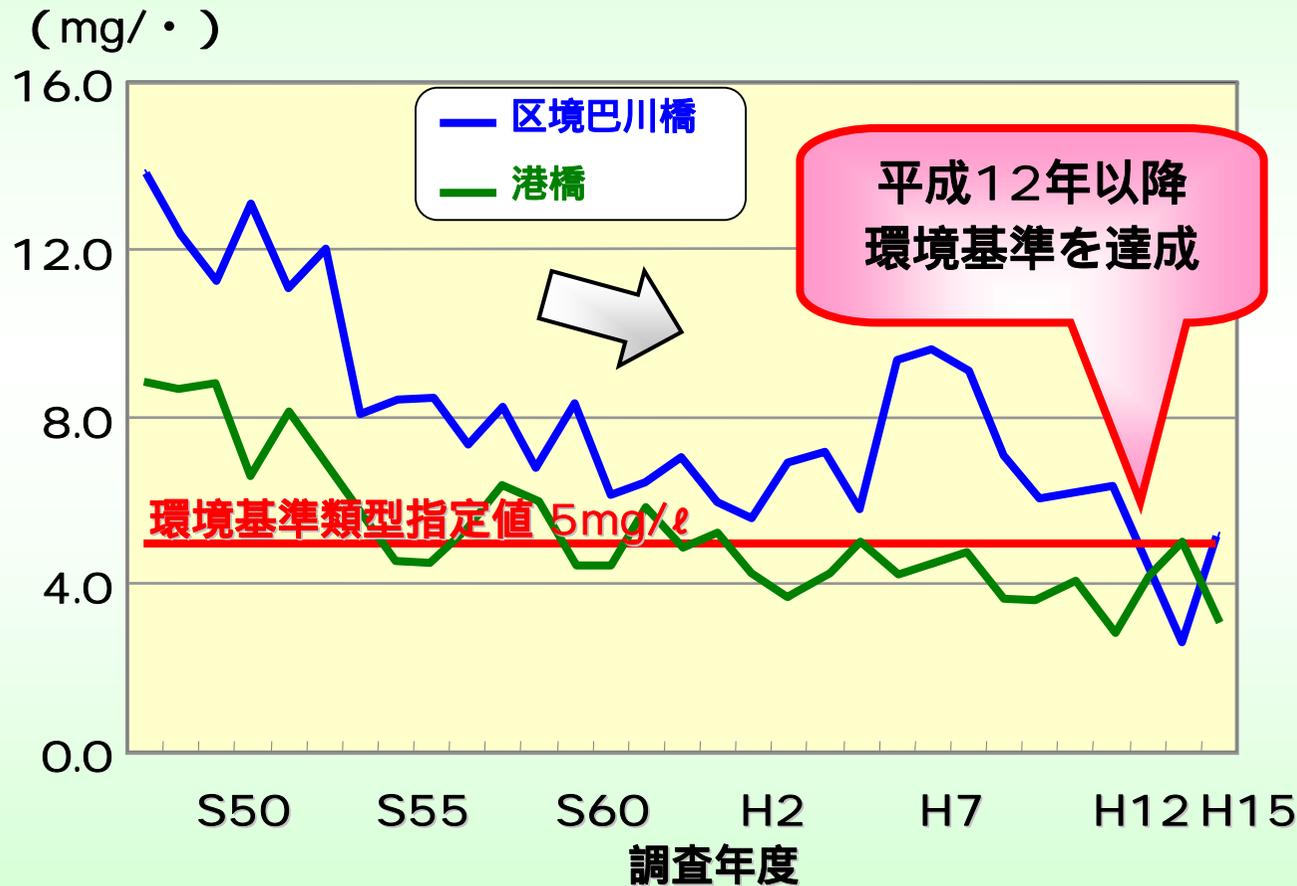


巴川本川下流部
(感潮区間)

マハゼ

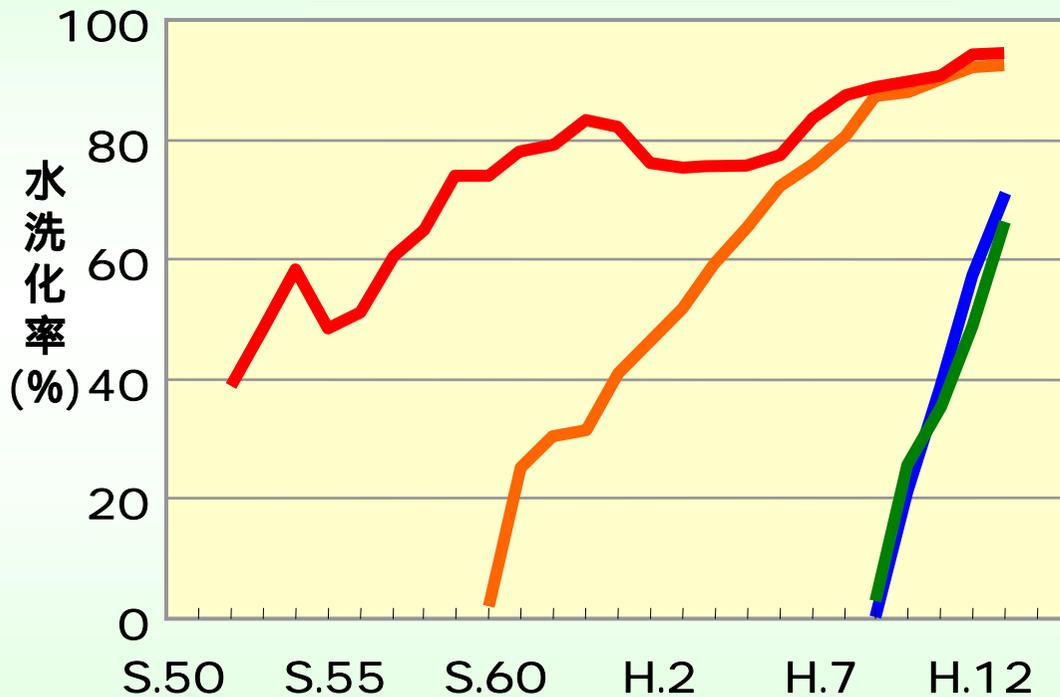
巴川流域自然環境図

巴川の環境基準はC類型（環境基準類型指定値の5mg/ℓ）に指定、水質は改善傾向にあります。



流域では、下水道の整備により河川への負担軽減に努めています。河川では、河床のヘドロを浚渫し水質改善を図っています。

水洗化率の経年変化



- 城北処理区
- 中島処理区
- 静清処理区1-1
- 静清処理区1-2

巴川流域内の水洗化率(人口)は
約**70.5%** (H17年度末時点)



浚渫浄化事業
S.47 ~ H.16

遊水地第4工区では、土壌に環境基準を超えるダイオキシン類が検出され、専門家を交え対策を検討しています。



専門家による現地調査



対策検討委員会の開催



- 水域において底質環境基準(150pg-TEQ/g)を超える区画
 - 底泥のみが超過する区画
 - 底泥および下部の人工地盤が超過する区画
- 陸域において土壌環境基準(1000pg-TEQ/g)を超える区画
 - 下部の人工地盤が超過する区画
- 陸域において土壌要監視基準(250pg-TEQ/g)を超える区画
 - 下部の人工地盤が超過する区画

麻機地域や支川最上流部には、貴重な自然環境が残され、それを保全し、守り伝えることが求められています。

都市近郊に残された貴重な自然
(麻機遊水地第4工区)



長尾川起点付近



麻機遊水地自然再生協議会の開催



浅畑川の多自然型川づくり



流域の河川は、災害復旧工事や住宅地の開発に伴って、治水最優先でコンクリート護岸が整備され、河川の魅力が低下しています。

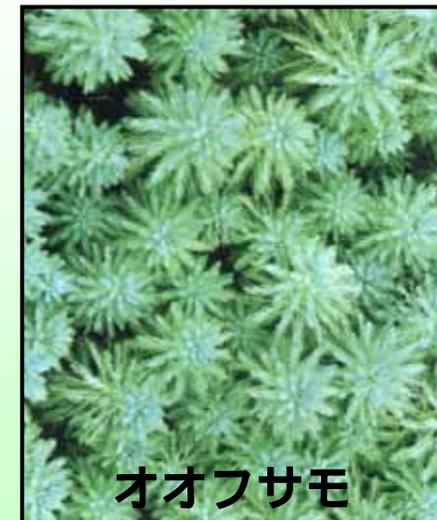


巴川流域の本来の生態系に、悪影響を与える「外来生物」が流域内に広がりつつあります。

巴川水系で確認されている「特定外来生物」

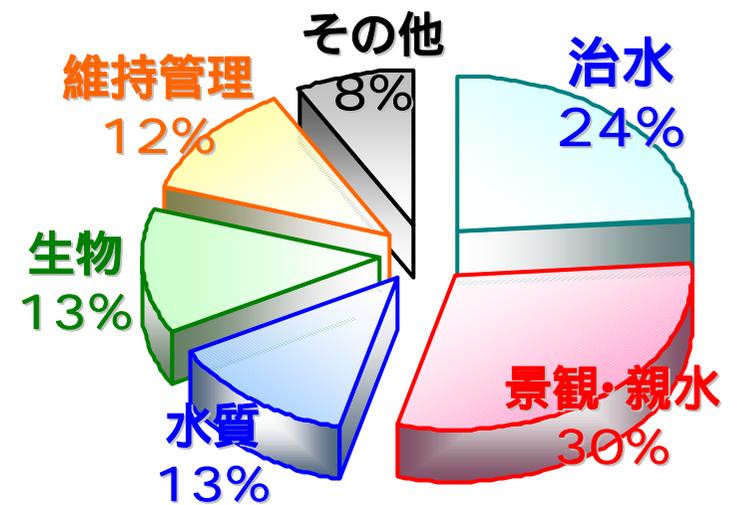
植物 アレチウリ（巴川、大沢川、麻機遊水地）
オオフサモ（大谷川放水路、麻機遊水地）
ナガエツルノゲイトウ（巴川）
オオキンケイギク（長尾川）

魚類 カダヤシ（大谷川放水路）
オオクチバス（大谷川放水路）
ブルーギル（大沢川、大谷川放水路）
カルムチー（麻機遊水地）



河川が本来持つ自然環境は、地域の貴重な共有財産であると再認識されつつあり、さらに豊かな自然環境の創出・再生が望まれています。

意見交換会の意見分類



意見交換会 主要な意見

「生物や植物の多い川にしてほしい...」

「ホテルが住めるきれいな川にしてほしい...」

「子どもと一緒に遊びたい...」

残された貴重な自然環境を保全し、守り伝えることが求められているが、護岸整備などにより、低下した河川の魅力を取り戻すことが必要である。

課題を解決するためのキーワード

学識者との連携（自然再生、ダイオキシン類対策）

自然環境に対する**流域（上下流）一環の取組み**

市民、団体、企業、行政などとの**ネットワーク化**

河川に対する**要望の収集と適切な情報の発信**

巴川流域麻機遊水地**自然再生**構想・実施計画



自然再生協議会での現地視察